

# 論壇



ナサン・ドーフアン  
ジョーファン

世界最高水準の教育と研究活動を通じて沖繩の自立的発展と世界の科学技術の発展に寄与する。10年前に提唱された本構想は、11月に予定されている沖繩科学技術大学院大学(OIST)の設置をもって、現実のものとなります。それに先立ち、6月16日から3日間、OIST

Tの歴史に刻まれるべき三つの意義深い出来事がありましたので、県民の皆さまにも報告したいと思えます。  
まず16日、最後の設立委員会が開催され、最終的な設立準備の状況について確認がなされました。優秀な学生を集めるには、充実した教育内容と魅力

## 沖繩から最先端の研究

### 大学院大開学へ準備着々

ある教授陣が鍵となります。昨年7月に私が初代学長予定者となつて以来、世界中に呼びかけを進めてきた教員採用活動では、類いまれな研究業績とリーダーシップを備えた優れた研究者の採用に成功しました。新たに19人の研究者がOISTに加わることに同意しており、それ

以前に着任している研究者とあわせ、学際性と多様性に富む世界でも類を見ない知的集積が沖繩の地に形成されつつあります。  
翌17日には、琉球大学との研究交流会を初めて開催しました。OISTの発展には、同じ沖繩に位置し、長い歴史と伝統

を誇る琉球大学との強い連携関係が必要です。当日は、岩政輝男学長をはじめとする同大学の先生方にOISTにお越しいただき、両機関のそれぞれ3人の研究者から日ごろの研究成果が発表されました。沖繩県の仲井真弘多知事も交流会に御出席いただき、今後の沖繩の発展に向

けて、OISTと琉球大学が一層の連携を進め、県民の皆さまの期待に応えていくよう激励の言葉をいただきました。  
さらに18日、OISTキャンパスで初めてとなる文化的イベントが始まりました。OISTが科学技術分野の国際的拠点として発展するには、より広範な

文化的要素を取り込んでいくことが不可欠です。それによってOISTが芸術、音楽、舞踏、演劇などの多岐にわたる文化の発信地になることも期待されます。沖繩を代表する陶芸家である山田真萬氏の巡回展HAMON(科学と芸術の出会い)は、こうした企画の第一弾として11月末まで開催します。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

このように、最先端の研究で世界の科学技術をリードし、かつ、地域に開かれた大学院大学の開学に向けて、大きな弾みをつけることができそうです。沖繩が世界に誇ることのできる大学院大学となるよう、引き続き最大限の努力をさせていただきます。  
(沖繩科学技術大学院大学初代学長予定者、64歳)